

# クラス通信

麻生本校・札幌駅前校・円山校

## クラスユニック高校部

令和 4年 7月15日発行

### 保護者の皆様へ

この「クラス通信」を通じてクラスユニックとご家庭との連携を密にし、お子様の受験準備の一助となるようお願い、発行をしています。生徒の皆さんの成功を祈りつつ、時には辛口の内容もあるかとは存知ますが、意のあるところをお汲み取りいただき、とにかく「合格」の二文字を目指して指導します。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

理事長・校長 福島 新四郎

### 新学年になってから3カ月余り、これからの夏期講習期間、後期に向けて必要なこと

高校での日常学習はすべて大学受験（共通テスト）時の「基礎力」となります。受験科目にしようとして予定している教科については特に学んだ範囲の全分野の見直しが大事です。中でも全学年を通じて必要なのは英語、数学、国語。これらの科目は知っての通り一朝一夕で身につくもの（学力が増すもの）ではありません。高校3年間の学びの中で、時間をかけて習熟していく科目です。国公立受験を目指すのであれば時間のかかるこれらの科目を日々の学習の中、特に夏や冬、春など学校の通常授業がない期間、力に差をつけるチャンスです。

### 夏期講習「受講ツールの紹介」と「狙い」(円山校)

#### <高3年生>

例年この時期は東進の「**共通テスト演習講座**」に特化して実施(受験日程の逆算による)。

「**年度別演習**」で10回分の演習:内容は今年の本試・追試・昨年度の1回目と2回目・試行調査テスト1回目・2回目・オリジナル問題4回分以上をしっかりと演習し、出てきた弱点範囲を各2単元ピックアップして「**分野別演習**」で各単元最大類似問題60回分の問題演習。理系は英数理理で600題の大問実施で平均15%ほど得点率UP。お盆明けまで徹底的に学習し、入試ラストまで使用。 <受講料 77,000円>

#### <高2年生>

○2学年終了までに英語・数学ⅠAⅡB・国語(現・古・漢)で共通テストに耐えうる知識を最低限身につけることが目標。

○数学ⅡBが終わっている2年生は、この夏、数学を特訓。

○東進「**個人別定石問題演習講座**」について

数学ⅠA・ⅡB範囲の定石問題(単元を横断した知識の組み合わせ【定石活用】で解く)、全150種の解法演習。

教科書レベルから入試レベルまで「数学力」を大きくつけるAI演習講座。7月・8月で約40時間演習し数学ⅠAⅡBの完成を目指す。<今年度リリースしたものでキャンペーン価格、半額の51,150円で提供>

#### <高1年生>

高1生にこの夏期間実践して欲しいこと…東進「**高速基礎マスター講座**」の**英語4冠達成**(英単語1800語・英熟語750・英文法750・基本例文300)、**数学計算演習ⅠA**既習範囲マスター。高1の夏、基礎基本を磨くことが重要なので完全に身につけられるように反復トレーニングを徹底的に行い、8月の模試で単語がわからなくて読めないということのないようにする。この夏で受講も完了し復習に入る。

※東進生はこちらの**高速基礎マスター**はついていきますので別途料金はかかりません。

(裏面へ)

## 札幌駅前校の夏期講習—前号掲載内容確認

【日程】 ①7/25(月)～7/30(土)、②8/1(月)～8/6(土)、③8/15(月)～8/20(土)

講習受講の狙い:受験でメインとなる科目(二次試験で必要な科目)、苦手科目、受験で配点が高い科目を中心に受講

【受講料】 グループ指導:12,870円 ※1科目60分、6日間の指導料

個人指導:5,000円/時間(講師の先生の指導)、4,000円/時間(チューター)

WEB授業:各ターム5,500円

## 麻生本校の夏期講習—受講と狙い

【高3生】6月までに身につけた**基礎事項**を定着させることが、この夏最低限クリアすべきこととなります。英語については文に含まれる**重要語彙の意味**が分かること、**文法事項、構文**などに気を付け、正しく訳せること。数学については計算力と教科書や傍用問題集に掲載されている問題を完璧に解ききれること。国語については古文は**古典文法や古語、古典常識の知識系**が身につけていること。漢文については**頻出句形や再読文字**などの**重要漢字**を正しく現代語に直せること。理科については現役生はまだ学習が終わっていないので、既習範囲について教科書の説明を理解し、問題集の基本問題を解きこなせること、などになります。基礎定着用の講座としては、「現役古典」などの集団授業を用意している他、PLで個別対応することになります。

上記の基礎事項がある程度定着している人は、演習を通じてさらなる基礎の定着と、覚えた項目を実際の問題に応用させる実戦力をつけることがポイントになります。数学で言えば、問題を解いてマルつけをしたら、間違えた問題について「なぜ解けなかったのか？」を分析するかと思いますが、その解けなかった問題にどんな要素が含まれているのか、また次どうすれば解けるようになるのかを明らかにし、何らかの対処をすることです(方べきの定理を使うことに気付かなかった→方べきの定理を使うパターンに気付けるようになる→方べきの定理を使う問題を問題集で探して演習する、など)。実戦力を養う講座として、**グループ指導(共通テスト英語Aなど)**を用意している他、PLで個別対応することも可能です。

【高1・2生】6月までに学校で勉強した**範囲の定着**がメイン。得意な科目については、少し難度の高い問題を解いてもよいでしょう。しかし、それ以上に大事なことは**勉強習慣の確立**。1週間のうちある1日だけ10時間勉強しても、残りの6日間の勉強時間がゼロだったらなかなか成果は上がりません。勉強を継続するためにはいろいろな方法がありますが、すぐにできるのは**勉強の記録をつけること(1週間の勉強予定の立案→実績の記録→翌週への反省と改善)**。

すでに毎週実行している生徒もいますので、やる気のある生徒は木下までお声がけください。継続できるようにスケジュール管理など協力します。

**<とぴくす>** 7月2日(土)・3日(日)の両日「令和4年度第1回三者面談」を開催致しました。お忙しい中、当校に足をお運び頂き誠に有難うございました。

後期は11月26日(土)・27日(日)に予定しております。又面談日以外でも何かありましたらいつでも御気軽にご連絡下さい。



<7月～8月の予定>は右下の「QRコード」からHP上でご覧下さい。

緊急時連絡はラインでお知らせ致します。



麻生本校 ☎011-716-7162 札幌駅前校 ☎011-299-6030

円山校 ☎011-613-7755

麻生本校 高校部



札幌駅前校 高校部



円山校 高校部

